

とやま環境チャレンジ 10（授業実施型）について

1 事業目的

県内の 10 歳の児童（小学校 4 年生）が、地球温暖化や 3 R、食品ロスなどの環境問題について学び、目標を決めて家族とともに家庭での対策を実践・自己評価するという一連の取組みを通じて、環境に配慮したライフスタイルを啓発し、家庭における地球温暖化対策の推進を図る。

2 事業の流れ ※令和 7 年度～Web アプリを活用（別紙）

- (1) 地球温暖化防止活動推進員*が、各小学校において地球温暖化や 3 R、食品ロスなどの環境問題に関する授業（環境チャレンジ教室前編）を実施する。
- (2) 授業を受けた児童が、富山県の推進する 4 つの取組みと、家族と相談の上、自ら決定する 6 つの取組みの計 10 項目を地球温暖化対策の目標として設定する。
- (3) 各児童が中心となって、家族とともに 10 項目の取組みを原則 4 週間実践する。また、定期的（1 週間に 1 回程度）に自己チェックを行う。
- (4) 事務局で各校の実施結果を「チャレンジ 10 通信」として取りまとめ、各小学校に配布する。その後、各小学校において取組みの振り返り授業（環境チャレンジ教室後編）を実施し、今後の取組みの継続を促す。

※地球温暖化防止活動推進員

県が委嘱を行い、地域において地球温暖化防止に関する住民への普及啓発、調査、指導及び助言等を行う。（現在 102 名）

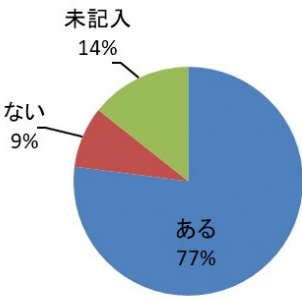
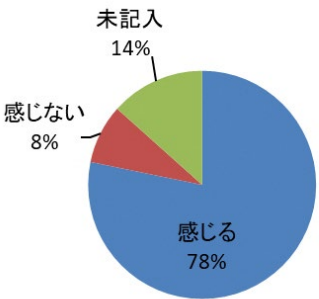
3 実施小学校

7 年度においては、県内 73 校で実施する予定。

年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
実施校	27	48	57	66	63	61	63	65
参加児童	1, 098	2, 140	2, 695	3, 474	3, 007	3, 164	3, 554	3, 240
年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度
実施校	68	67	66	71	66	64	69	63
参加児童	3, 297	3, 107	3, 784	3, 403	2, 842	3, 503	3, 022	2, 710
年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度				
実施校	70	63	68	67				
参加児童	3, 543	3, 038	2, 854	3, 039				

4 事業効果（ご家族への事後アンケート：令和 6 年度）

- ① 地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？
- ② 習慣化した取組みはありますか？



Web アプリの活用について

令和7年度実施分からは、「とやま環境未来チャレンジ10 学習用 Web アプリ」(令和6年度制作)を活用し、実施方法を一部デジタル化する。

これまでの実施方法	アプリを活用した実施方法
①環境チャレンジ教室前編 推進員による授業	①環境チャレンジ教室前編 推進員による授業
	
②取組み項目の設定 児童が<u>とりくみノート(冊子)</u>に記入 	②取組み項目の設定 児童が<u>アプリで選択・登録</u> 
③取組みの実践、自己チェック 児童：<u>とりくみノートに記入、学校に提出</u>  	③取組みの実践、自己チェック 児童：<u>アプリに入力</u>  
学校：<u>とりくみノートを回収、事務局へ送付</u> 	学校：<u>アプリ（管理用）から内容を確認、「完了」ボタンを押す</u> 
④チャレンジ10 通信の作成、配布 <u>事務局がとりくみノートを集計し作成</u>	④チャレンジ10 通信の作成、配布 <u>アプリから自動的に作成</u>
⑤環境チャレンジ教室後編 推進員による振り返り授業 	⑥環境チャレンジ教室後編 推進員による振り返り授業 